

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児熱傷における維持輸液の上皮化促進の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 高柳奈央 (形成外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2025年2月20日～2025年3月31日

目的：熱傷治療において近年ABLS (米国熱傷学会 (ABA) が開発した重度熱傷患者の初期診療に特化した標準化プログラム：Advanced Burn Life Support) に準拠した治療が一般的となっている。ABLSでは体重30kg未満の小児に対して維持輸液をすることが勧められているがその期間や上皮化に与える効果については言及されていない。維持輸液の上皮化促進につき診療録より調査し、維持輸液の有用性を検討する。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2014年4月～2024年12月に当院で熱傷の入院加療を行った小児 (0歳～12歳) の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、病歴、熱傷受傷の契機、治療経過、合併症の有無、輸液療法の使用薬剤・使用量・使用期間等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

形成外科 高柳奈央

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971